

-----4月16日-----

## 今週のアウトルック (4/16 ~ 4/20)

先週はスペイン国債問題にやや神経質な動きとなりました。EUソブリン債問題に新しい材料がなければ、買い戻しが優勢となり円安が進むという展開となりました。

今週もEUソブリン債問題は引きずるものの、新たな懸念材料が提示されなければ、買い戻しが進むという動きになる可能性が高そうです。また、ドル円やユーロ円よりもポンド円やオージー円の方が円安に向かう速度は早いかもしれません。

ドル円は、マクロ指標が期待されたほど改善されていないという状況下で少し足踏み状態が続いています。中期的にはドル高の可能性は高そうですが、もう少し足踏み状態が続いてしまうのかもしれませんが、ただ、こちらもEUソブリン債問題の再燃には敏感で、反転する可能性は考慮する必要がありそうです。

ドル円の予想レンジは80円から82円です。

ユーロはスペインやイタリア国債の入札状況に敏感な展開は続きそうです。スペイン国債に対するCDSも高値を更新し、緊迫した状況はしばらく続くのかもしれませんが、ただ、何もなければ円安という状況にも変わりはなく、トレードポイントが難しい状況は続きそうです。

ユーロ円の予想レンジは102円から108円です。

ポンド円はユーロの動きに大きな変化がなければ、円安トレンドに完全に反転する兆しがあります。ただ、こちらもEU国債問題に敏感な状況には変わりはなく、十分警戒が必要です。

ポンド円の予想レンジは127円から131円です。

今週も、EU国債入札時の状況に警戒態勢を取りながら、円売りを少しずつ進めるというような状況に変化はないように思います。ただ、EU国債問題に新しい材料が提示された場合、一気にリスクオフ的な円買いが進む可能性も否定できないので、十分な注意が必要です。

\* 免責事項 \*

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。